

ACTION

アクション REAR VIEW

リアビュー



※一部の画像はバンダイプラモデルアクションベース2(別売り)を使用しています。

ARX-014 SILVER BULLET

E.F.S.F. QUASI PSYCOMMU MOBILE SUIT TEST TYPE

MODEL NUMBER : ARX-014
 HEAD HEIGHT : 22.2m
 WEIGHT : 33.5t
 GENERATOR OUTPUT : 5,250kw
 MATERIAL : GUNDARIUM ALLOY
 ARMAMENTS :
 60mm VULCAN GUN
 BEAM SABER
 BEAM RIFLE
 INCOM
 WIRED HAND
 BEAM CANNON
 SHIELD
 (MISSILE LAUNCHER/
 BEAM LAUNCHER)
 ANTISHIP MISSILE
 MISSILE



DETAIL

ディテール



頭部可動(首)



バックパック可動



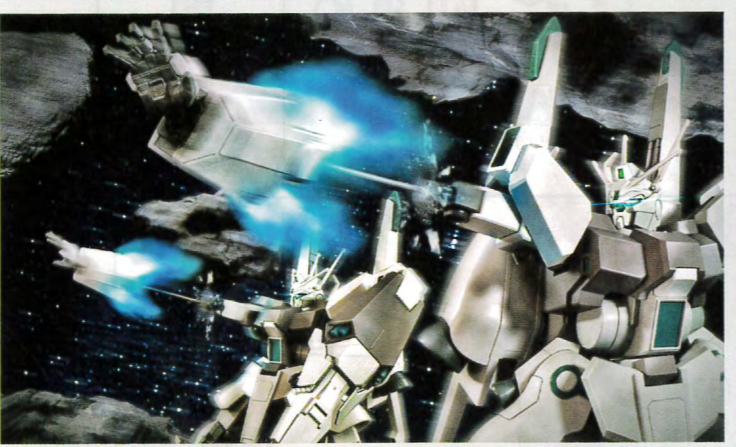
60mmバルカン砲
 ヘッド・ユニットの変更に伴い、内蔵するバルカンの口径は30mmからこの時代の連邦系機体において標準的な60mmへと改められた。

インコム 背面のバックパックに格納された、準サイコミュによる有線式オールレンジ兵器。ドーベン・ウルフが使用していたインコム・ユニットに改良を加え、装弾数の増加及び再チャージ時間の短縮に成功している。

肩部ビーム・キャノン
 ジェネレーター直結式のビーム・キャノンは、バックパックを大きく展開させて長射程での支援にも対応するため前方向への射撃体勢をとらせることが可能。

対艦ミサイル/ミサイル
 ドーベン・ウルフに設定されていた対艦用のAMS-09R型(2発)と、対モビルスーツ用のAMS-01H型(24発)のミサイルは、改修機体である本機にも装備させることが理論上は可能である。

ARX-014 シルヴァ・パレット
 宇宙世紀0096年。工業コロニー〈インダストリアル7〉付近の宙域で、RX-0と呼ばれる試作モビルスーツの最終稼働試験が行われていた。試験は模擬戦形式で進められ、1機のRX-0に対して4機の〈シルヴァ・パレット〉を仮想敵機とする特殊な状況ではあったが、RX-0もまた、その数的不利を一切感じさせない特殊性能を示し続けている。「チツ、エース気取りか? 調子つきやがって……」ガンダム・ヘッドの〈シルヴァ・パレット〉を駆るテストパイロットの苛立ちは、RX-0のシートに座る同僚に対して向けられていた。その生々しい嫉妬は、やがて憤懣となって他の仮想敵機にも伝搬していき、彼らの歪んだ協調は白兵戦への無許可移行に繋がっていく。不意を付かれたRX-0は装甲の堅牢さだけを示す木偶と化し、もはや〈シルヴァ・パレット〉側の兵装試験の様相を呈している。有線式ハンドを伝う高圧電流の遊りがテストパイロット達の歓喜をますます加速させ、一方的な戦闘はそのまま終わることなく続くかに見えたが——彼らは知らなかった。RX-0に秘められた獣性と、中の同僚はその手綱を握ける人間ではなかったことに。
 (機動戦士ガンダムUCバンデシネ1巻 ユニコーンの日Act.3より)
 ※画像はイメージです。



COLOR GUIDE

※よりリアルに仕上げたい方は、右の基本色をご覧ください。
 ※塗装には、より安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
 ※カラー配合は参考値であり、画像とカラーガイドの色は異なる場合があります。

●本体等ライトグレー部: ホワイト(85%) +ニュートラルグレー(10%) +ライトブラウン(5%)	●胸部、銃等グレー部: ニュートラルグレー(90%) +ブラウン(5%) +ホワイト(5%)	●センサー等: 下地にシルバー(100%) +クリアグリーン(70%) +クリアブルー(30%)	●バーニア内等グリーン部: インディブルー(75%) +ホワイト(10%) +イエロー(10%) +イエローグリーン(5%) +ニュートラルグレー(少量)
●関節等グレー部: ニュートラルグレー(70%) +ブラック(30%)	●頭部等ホワイト部: ホワイト(100%)	●ガンダム・ヘッドアゴレッド部: モンザレッド(100%)	

1/144 SCALE



GUNDAM.INFO Search
 www.gundam.info
 バンダイホビーサイト www.bandai-hobby.net/
Fees accrued by your communication and connection to the internet are under customer's responsibility.
 ホームページにアクセスする際の通信費等はお客様の自己責任となります。



警告 (けいこく)

保護者の方へ 必ずお読みください。

- 小部品があります。誤飲・窒息の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。
- 生後18ヵ月未満のお子様には絶対に与えないでください。ひもなどで首を絞める危険があります。

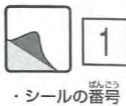
注意 (ちゅうい)

- 縁部が鋭い箇所がありますので、注意してください。
- 先端が尖っている箇所がありますので、注意してください。
- 部品はきれいに切り取り、切り取ったあとのクズは捨ててください。
- 袋を頭からかぶったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。

《組み立てる時の注意》

- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
- 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。
- 塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。

組み立て中に
注意する箇所



反対側に取り付けるパーツ	両側に同じパーツを取り付ける	向きに注意して取り付ける	部品を数個の個数作り出す	後に組み立てます	どちらかを選んで取り付ける	反対側も同じように動かします

パーツリスト (X印は使用しないパーツです。)

Aパーツ (スチロール樹脂: PS)	Bパーツ (スチロール樹脂: PS)	Cパーツ (スチロール樹脂: PS)	Dパーツ (スチロール樹脂: PS)	E1パーツ (スチロール樹脂: PS)
Fパーツ (スチロール樹脂: PS)	Gパーツ (スチロール樹脂: PS)	H1パーツ (スチロール樹脂: PS)	PC-132ABC (ポリエチレン: PE)	
SB1パーツ (スチロール樹脂: PS)	● ホイルシール……………1 ● リード線……………2 (塩化ビニル樹脂: PVC)			

※クリアパーツの中には、製造工程上気泡が入っているものがありますがご了承ください。

※部品はきれいに切り取り、向きや左右などイラストを良く見て組み立ててください。

1 (シール) 5 (向きに注意) F12 C9 C10 H19 ※切り取らないように注意してください。

2 PC2 G15 向きをかえます。 E17 G14 PC2

3 E18 1 H10 ※切り取らないように注意してください。

4 ガンダム・ヘッド ジム・ヘッド (シール) 8 (シール) 9 (選んで組み立てる) C18 H10 C19 C20 I1 C21 C19 C20

5 (シール) 10 (向きに注意) ※各アンテナが折れないように注意してください。 ※シールを先に貼ります。 (シール) 13 (シール) 7 C2 C1 (シール) 11 (後ろから見た図) C3

6 x2 2個作る (向きに注意) F24 C6 ※切り取らないように注意してください。 C5 C4 (シール) 38 (シール) 24 (シール) 21 (シール) 22 (シール) 23 (シール) <組み立てた後を横から見た図> (シール) 1

7 x2 2個作る <組み付け位置> PC7 D5 D4 D18 (後に組む) F7 PC13

8 x2 2個作る F5 F6 (後に組む) ※PCパーツを押さえながら取り付けます。 PC10 D3 ※PC10を押さえながら取り付けます。

9 x2 2個作る (シール) 25 (シール) 35 (シール) 27 (シール) 28 (シール) 25 (シール) (上から見た図) A12 A1 A11 PC8 (後に組む) PC6

10 x2 2個作る C8 C8 7 8

11

F19 F20
D1

(通んで取り付ける)

D1 F16

12

F15 F14 D1

(通んで取り付ける)

F15 D1

13

※各アンテナが折れないように注意してください。

5

6

11

3

12

14

x2
2個作る

G6 PC4 G4

(後に組む)

E14 E13

(反対側に取り付ける)

15

x2
2個作る

E19 PC9 E10

16

x2
2個作る

(後に組む) PC8 G6 PC10 G7

17

x2
2個作る

(後に組む) G8 PC2 G9

※PCパーツを押さえながら取り付けます。

(後に組む) PC2 D17

18

x2
2個作る

PC11 G3 G10

(後に組む)

19

x2
2個作る

PC9 A8 G11

20

x2
2個作る

〈組み付け位置〉

PC8 G10

21

x2
2個作る

A2

(シール) 39

20 (シール)

A7 C11

D7 D6

(反対側に取り付ける)

※シールを先に貼ります。

4 (シール)

22

(後に組む)

向きをかえます。

D12

16 17

(反対側に貼るシール)

2 (シール)

23

16

17

15

24

(後に組む)

D13

17 16

(反対側に貼るシール)

向きをかえます。

D8・D9

3 (シール)

25

F13 PC1

前

向きをかえます。

D15 PC6 F4

(後に組む) D14

26

〈横から見た図〉

E11

前

C7

向きをかえます。

E10 A4

18 (シール) 19 (シール)

27

x2
2個作る

A9

G17

15 14

(反対側に貼るシール)

28

27

26

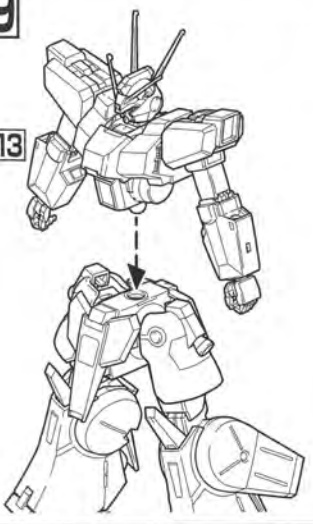
27

23

24

29

13

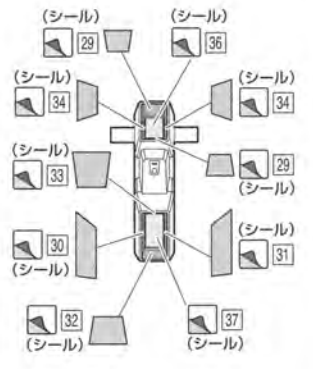
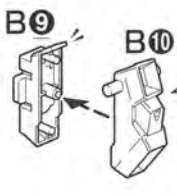


※バンダイプラモデル
アクションベース2
(別売り)差し込み用
(丸型)BA4-A⑨に
対応しています。

30

B9

B10



31

×2
こづつ
2個作る

B16・B14

〈下から見た図〉

※切取らない
ように注意。



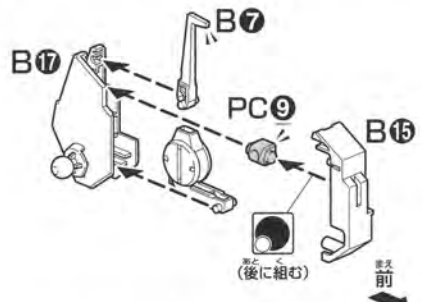
32

B7

B17

PC9

B15



〈組み付け位置〉



※水平になるように、
取り付けます。

33

B7

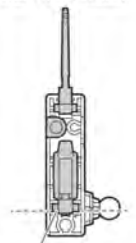
B18

B16

PC9

31

〈組み付け位置〉



※水平になるように、
取り付けます。

34

×2
こづつ
2個作る

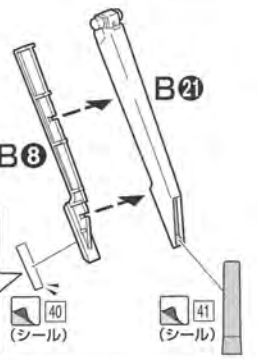
B4

B8

長い
短い

40
(シール)

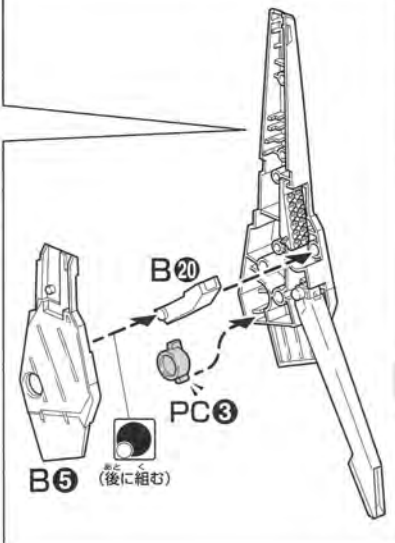
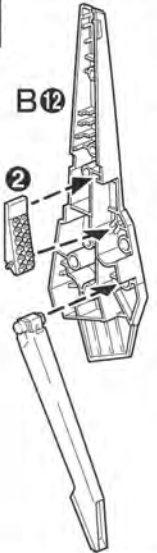
41
(シール)



35

B12

H12



B20

PC3

B6

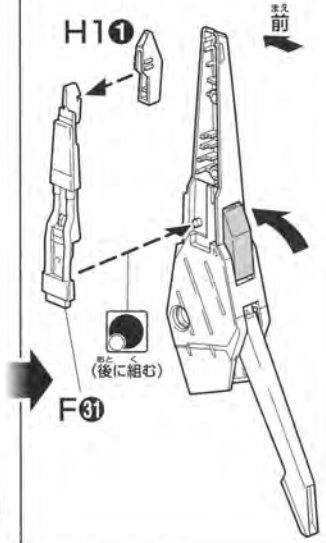
(後に組む)

H11

※切取らない
ように注意。

F31

(後に組む)



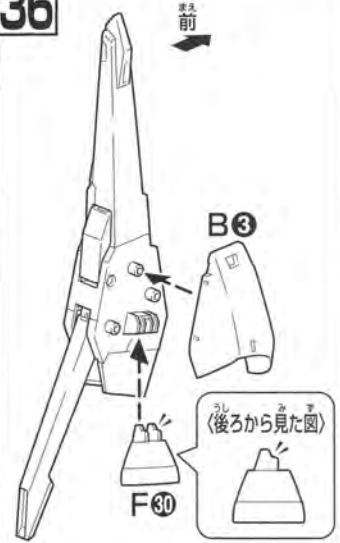
36

※切取らない
ように注意。

B3

〈後ろから見た図〉

F30



ARX-014 SILVER BULLET

(シルヴァ・バレット)はAMX-014(ドーベン・ウルフ)をベースに、AE(アナハイム・エレクトロニクス)社が地球連邦軍の依頼を受け、改修を行った試作型モビルスーツである。「第一次ネオ・ジオン戦争」終結後、ネオ・ジオン軍の本拠地(アクシス)は地球連邦政府の管理下におかれ、その際に予備戦力として残存していた(ドーベン・ウルフ)数機を接収、一般兵用サイコミュシステム、いわゆる準サイコミュの技術研究用にAE社のグラナダ工場に移送され、本機への改修作業が行われた。ベース機のジェネレーター直結型火器を一部オミットし、それに伴い外装を構成する装甲部材を更新。その副次的効果として、機体の大幅な軽量化と、スラスター各部への効率的なエネルギー供給が可能となり、高出力状態を維持しつつ安定、かつ良好な俊敏性を獲得している。不要部分を削ぎ落とし、機体コンセプトを今一度絞り込んだ本機の最終的な性能数値は、テスト用モビルスーツとしての想定数値を大幅に超え、十二分に実戦での運用に耐えうる高いレベルを示したという。その後AE社の関連企業によって管理されていた複数の本機が、地球連邦軍のモビルスーツ開発計画による模擬戦で大破したとされるが、その詳細は機密事項となっており、公式に一切の記録は残されていない。

有線式ハンド

前腕部を射出し、有線式オールレンジ攻撃を行う準サイコミュ兵器。マニピュレーターは高圧電流発生機能とビーム発射口が備わった独特な性能・形状を持つ。

SPEC

型式番号: ARX-014
 頭頂高: 22.2m 本体重量: 33.5t
 ジェネレーター出力: 5,250kw
 装甲材質: ガンダリウム合金
 武装: 60mmバレルカノン/ビーム・サーベル
 ビーム・ライフル/インコム
 有線式ハンド/肩部ビーム・キャノン
 シールド(2連装ミサイル・ランチャー/ビーム・ランチャー)
 対艦ミサイル/ミサイル
 ※データは劇中の設定です。

ビーム・サーベル

大腿部に収納されている近接戦闘用兵器。ドーベン・ウルフの既存兵装をそのまま流用したレイアウトになっている。

シールド

ドーベン・ウルフのメガランチャーをショートバレル化し、ジェガン用シールドに組み込んだ多目的防御装備。本来必要のない装備であったが、携行兵装を充実させることで高精度のテストが行えるという改修担当チームの提案により用意された。ビーム・ランチャー射撃時は銃身が伸長し、ある程度の長射程狙撃にも対応する。

ヘッド・ユニット

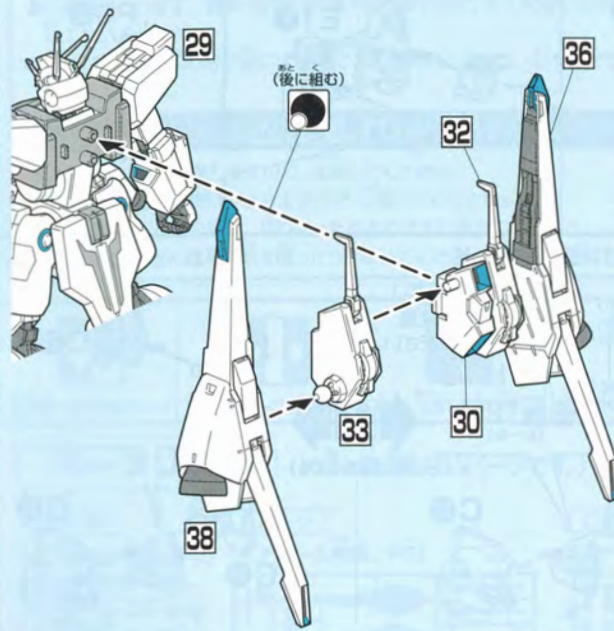
準サイコミュ兵装テスト用のガンダム・ヘッドと、測定センサーを強化したシステム解析用のジム・ヘッドの2種が設定されている。

ビーム・ライフル

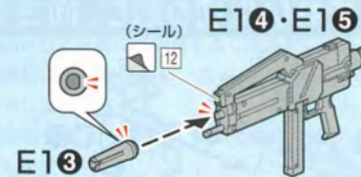
模擬戦などで取り回しの良い携行兵器が必要な場合は、ジェガン用と同等級のビーム・ライフルを使用する。

39

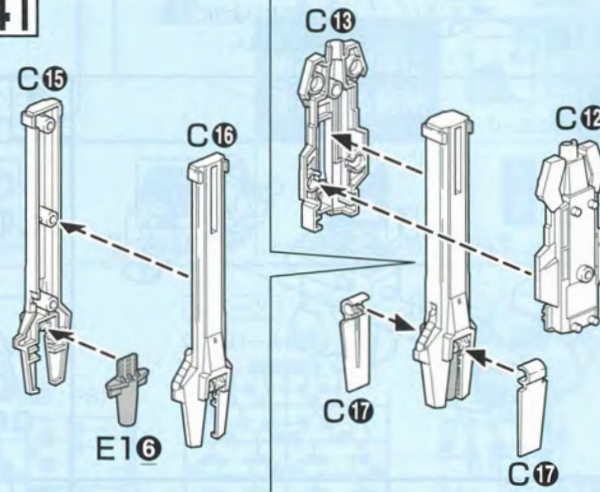
※各アンテナが折れないように注意してください。



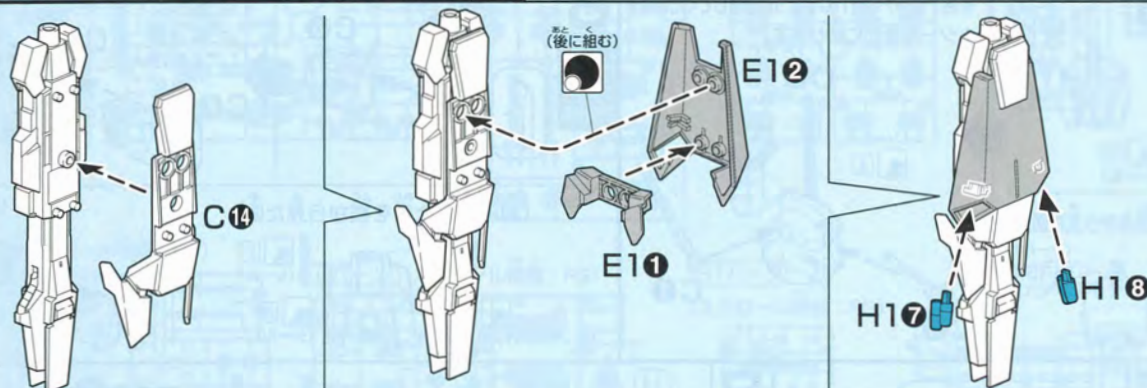
40



41

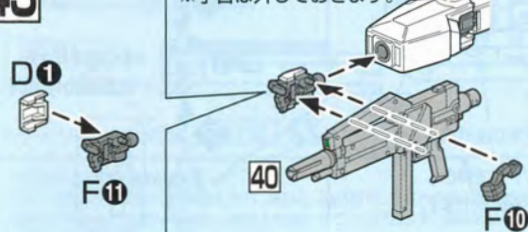


42

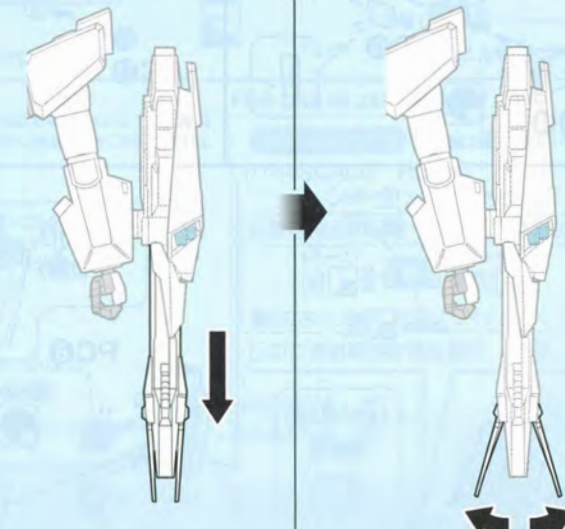


43

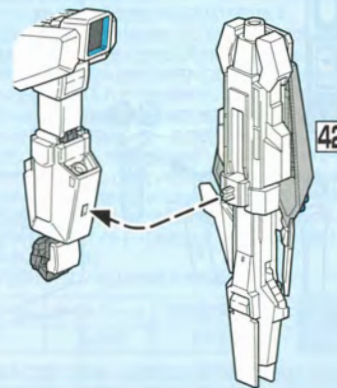
※手首は外しておきます。



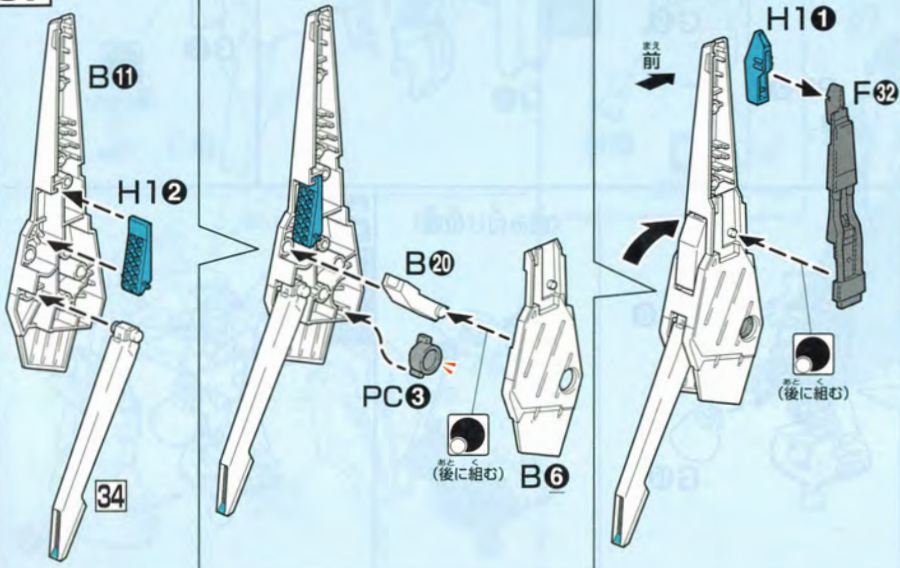
45



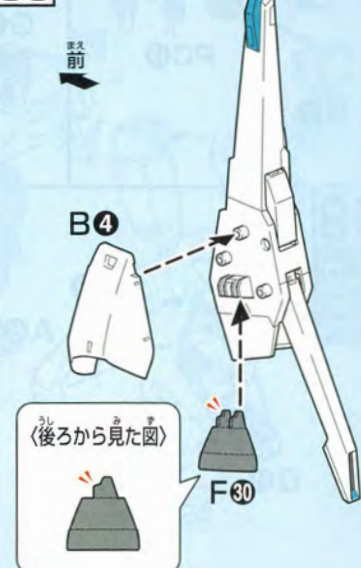
44



37



38



『UC-MSV』のMSをHGUCで確認せよ!



UC-MSVとは
 機動戦士ガンダムUC(ユニコーン)世界に登場する魅力的なモビルスーツラインナップにさらなる彩りを与えるバリエーション。それがUC-MSV。コミカライズやゲームなど、ジャンルを問わずさまざまな新モビルスーツが登場。そしてあなたはもう一つの「可能性の獣」に出会う!!

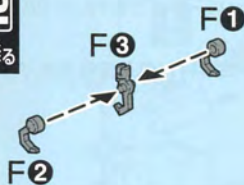


HGUC No. 160
 ドーベン・ウルフ(ユニコーンVer.)

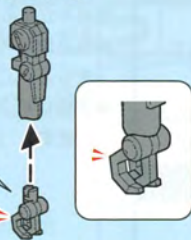
HGUC No. 136
 デルタガンダム

HGUC No. 148
 ガンダムデルタカイ

46

×2
2個作る

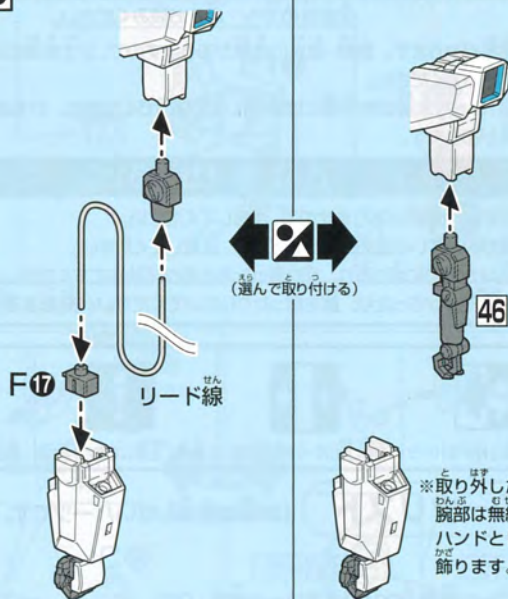
F21・F22



49

※右腕も同様に取り付けます。

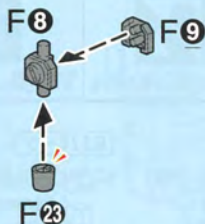
プラモデルオリジナル



(選んで取り付ける)

※取り外した腕部は無線式ハンドとして飾ります。

47

×2
2個作る

48

(反対側も同じように動かす)



50

×2
2個作る

※右腕も同様に取り付けます。

49で作った射出された腕部※どちらでも飾る事ができます。



G1



G13

51

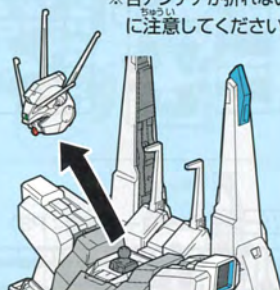
(反対側も同じように動かす)



52

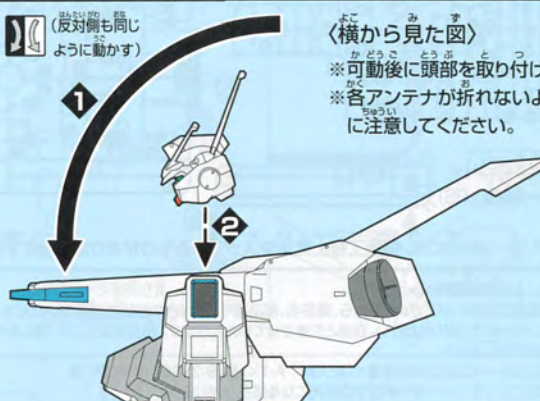
〈肩部ビーム・キャノンの展開〉

※各アンテナが折れないように注意してください。



53

(反対側も同じように動かす)



〈横から見た図〉

※可動後に頭部を取り付けます。※各アンテナが折れないように注意してください。

54

×2
2個作る

B1・B2

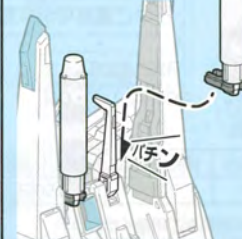


(向きに注意)

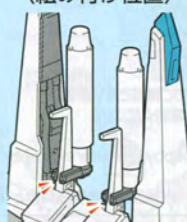
F29

55

※頭部の各アンテナを避けながら取り付けます。



〈組み付け位置〉



※説明のため、一部イラストを省略しています。

56

×2
2個作る

SB1 ①

※手首は外しておきます。

A6

※切り取らないように注意してください。

A5

